

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

- 1 . 講 師 道脇 幸博 先生
(武蔵野赤十字病院 部長)
- 2 . 演 題 嚥下における、筋活動の時空間的变化と
器官の運動の統合的関与を解明するための、
数値シミュレーターの開発
- 3 . 日 時 平成 2 5 年 2 月 2 5 日 (月)
1 8 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0
- 4 . 場 所 共用セミナー室 1 1 (M & D タワー 6 階)
- 5 . 内 容

嚥下には、4つの臓器と30対以上の筋が関与し、12対の脳神経のうち運動では5対、知覚・感覚では6対が分布している。これらの神経と筋がネットワークを作って統合し、食品（外的刺激）に応じて各器官が適切なスピードとタイミングおよび動力で運動して、嚥下の恒常性を維持していると考えられるが、そのバイオメカニズムは不明である。本研究の目的は、従来の生体計測のデータを加工して、嚥下運動を数値シミュレーションする方法を確立し、筋活動の時空間的变化と器官の運動の統合的関与を解明することである。

本講義では、粒子法による嚥下のシミュレーションで明らかになった器官の運動を立体画像で示して、医学的・工学的検証結果と併せて提示する。

【連絡先】認知神経生物学分野 泰羅雅登（内線 5445）